

【科目名】 中枢神経疾患理学療法学		【担当教員】 高橋洋
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0630-0-1	(メールアドレス) 【高橋】 hiroshit@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 3 年次前期	【選択必修】 必修	(オフィスアワー)
【単位数】 2	【コマ数】 15	【高橋】 月、火、木、金 8:00～17:30
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・実技を行う際は、動きやすい服装を準備すること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・筋の神経支配、脊髄、中枢神経系の解剖学と生理学について復習しておくこと。		
【講義概要】 (目的) ・脊髄損傷などの中枢神経障害の原因、症状、合併症、及びそれらに対する対応、理学療法について理解する。中枢神経系を損傷すると人体にどのような影響が起こるのかを知ることで、人体はどのような機能が必要かを理解することができる。 (方法) ・資料を配布する。実技も行う。また必要に応じて課題を与える。		
【一般教育目標(GIO)】 ・中枢神経系の機能が損なわれるとどのようなことが起こるかを理解する。脊髄損傷による症状、病態とそれが起こる理由、損傷レベルによる違い、対処法等について理解する。 【行動目標(SBO)】 ・中枢神経系疾患によって生じる症状や合併症及びそれが起こる理由を説明できる。 ・各疾患の病態に即した理学療法評価を選択し、実施できる。 ・各疾患により障がいを受けた方の身体的・心理的・社会的問題とその解決策を検討することができる。 ・対麻痺、四肢麻痺患者の動作を真似できる。		
【教科書・リザーブドブック】 ・		
【参考書】 ・細田多穂、柳澤健編集：理学療法ハンドブック、疾患別・理学療法基本プログラム、協同医書出版社、7,000+ 税		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・本学学則規程の GPA 制度に従う。 ・出席、期末試験、レポート、成果発表により総合的に評価する。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		70				30			100 点
評価指標	取り込む力・知識	70							
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業運営方法	学修課題(予習・復習)						(分)
1	オリエンテーション 脊髄損傷の原因・症状 (1～10 担当：高橋)	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
2	起立性低血圧 ～自律神経過反射	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
3	急性期合併症～運動麻痺	講義	(予習) 筋の神経支配を復習しておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
4	運動麻痺～機能レベル	講義	(予習) 筋の神経支配を復習しておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
5	呼吸障害	講義	(予習) 呼吸に関する筋を調べておくこと (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
6	膀胱障害～直腸障害	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
7	性機能障害～褥瘡	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
8	異所性骨化、骨粗しょう症、 痙性	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
9	痙性	講義	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。						60 分
10	心理、演習	講義、演習	(予習) 関連する過去問をやっておくこと。						120 分

平成 26～28 年度入学者用

			(復習) できなかった過去問をやり直すこと	
11	対麻痺の理学療法	講義, 実技	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60
12	対麻痺の理学療法	講義, 実技	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60
13	四肢麻痺の理学療法	講義, 実技	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60
14	四肢麻痺の理学療法	講義, 実技	(予習) 配布資料を読んで、次回の疑問点を明確にしておくこと。 (復習) 講義内容を理解、暗記すること。	60
15	まとめとフィードバック	演習	(予習) 関連する過去問をやっておくこと。 (復習) できなかった過去問をやり直すこと	90

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。